



今回も刃物のまち関市から「世界のナイフ資料館」をご紹介します。

前回・前々回のドライブナビでは「関鍛冶伝承館」「フェザーミュージアム」をご紹介します刃物やカミソリについて学んできました。

今回はナイフです！日用品ではないかもしれませんが、海外映画やドラマなどに度々使用され、来場者は県外の方や外国人の方も多く来場されるようです。それでは知られざるナイフの世界を見ていきましょう！

### 世界のナイフ資料館とは？

ヨーロッパの騎士のロマン、イングランドの紳士のロマン、アメリカ西部のガンマンのロマン。そんなロマンをのせた数々のナイフがたくさん展示してあり、貴方の目を釘付けにするナイフ資料館です。



⇐資料館はそこまで広くありませんが、コレクター魂たっぷりの館内となっています。

### オールド・ガーバー マグナムハンターマシエット



⇐1965年～67年にガーバーが作った最も大きなナイフで、世界に1本しかない貴重なナイフです。

### 1904年セントルイス世界万国博覧会展示セット



⇐基本的には無人の施設なので明かりをつけてから入ります。

⇐1904年、当時セントルイス、シェフィールドで大成功していたA.J.JORDANが万博で展示した巨大ハサミです。

### 世界最小の ポケットナイフ 1880年～1920年製



⇐アメリカのナイフマガジン「KNIFE WORLD」に世界最小ナイフとして紹介され、ナイフ作りをされている方が制作に挑戦すると、より素晴らしさを感じられるナイフとなっています。

### 40本W.R.CASE チーナナイフディスプレイ (アメリカ製)



⇐セールスマンサンプルとして制作されたプロトタイプで完全に揃ったセットは、この1セットしかないとされています。

完全に揃ったサンフィッシュナイフコレクションは、この1セットしかないとされています。↓



### 40本W.R.CASE サンフィッシュ・ ナイフディスプレイ (アメリカ製)



⇐家庭で使われる包丁に似ていますが、刃に動物や自然が描かれており、アート作品となっています。



⇐ナイフ館なのに恐竜の化石を発見。草食恐竜の大腿部の化石で白亜紀に北アメリカ平原に生息していたと思われます。

## 世界のナイフ資料館

〒501-3932 岐阜県関市稲口町広瀬674番地



入館料 無料  
開館時間 10:00～16:00  
休館日 土日祝・年末年始・お盆  
連絡先 TEL 0575-22-8892  
FAX 0575-24-1895  
E-mail sales@setocut.co.jp  
企業HP http://www.setocut.co.jp/

MJ編集部オリジナル

「MJドライブナビ動画」配信中!!



QRコードを読み込んでチェックしてね!!

